

課金ストレージのディレクトリ構成・容量制限について

本ドキュメントは、課金ストレージにおけるプロジェクト領域のディレクトリ構造および容量制限（クォータ）の適用ルールについて定めたものです。データの格納先や制限対象範囲を誤ると解析エラーの原因となるため、利用開始前に必ず内容を確認してください。

1. ディレクトリ構造と書き込み権限

/data 以下に、課題番号をディレクトリ名として、以下の体系で作成されます。

ディレクトリパス	用途・役割	アクセス権限
/data/{project_id}/	プロジェクト領域（起点）	-
└─ ExpData/	測定装置からの元データ	読み込み専用
└─ work/	解析データ、一時ファイルの保存	読み書き可能

2. 容量制限（物理クォータ）の適用ルール

容量制限は、特定のフォルダ内だけではなく、プロジェクト全体の合計使用量に対して適用されます。

- **制限の対象範囲：**
プロジェクトルートである **/data/{project_id}/** 以下のすべてのデータの **合計容量** が制限のカウント対象となります。
※書き込み可能な **work/** 内だけでなく、参照専用である **ExpData/** 内のデータ量もすべて合算されます。
- **容量超過時の挙動：**
/data/{project_id}/ 全体の **合計容量** がご契約容量を超過した場合、書き込み可能な **work/** ディレクトリであっても、新規データの保存や解析ジョブによるデータ出力が即座にエラー（書き込み遮断）となります。
- **運用の注意点：**
特に元データ（**ExpData/**）のサイズが大きい場合、解析エリア（**work/**）で利用できる実質的な容量が少なくなります。UIサイト等で定期的に全体の **合計容量** をご確認ください。

だき、不要になった解析データ等は適宜削除・整理していただくようお願いいたします。

3. 運用に関するQ&A・補足

利用申し込みと料金

利用の申し込みや料金については、UIサイト(<https://user.spring8.or.jp/?p=56746>)をご確認ください。

使用状況の確認方法

現在の使用量やディレクトリ別の内訳は、UIサイトより随時ご確認ください。（※集計は定期的バッチ処理のため、実際のデータ削除が反映されるまで数時間の **タイムラグ** が生じる場合があります。余裕を持って整理を行ってください。）

容量不足時の対応

契約容量を超過しそうな場合は、容量拡張をご検討ください。必要な場合はUIサイトから手続きを行ってください。

利用期間終了後について

利用期間が終了すると、データの新規保存や更新ができない状態（閲覧のみ可能）に切り替わります。その後、定められた **猶予期間** を過ぎるとデータは削除されます。

【本件に関するお問い合わせ窓口】

SPring-8 データセンター管理者

E-mail: sp8dc-admin@spring8.or.jp

受付時間: 平日 9:00 ～ 17:30